

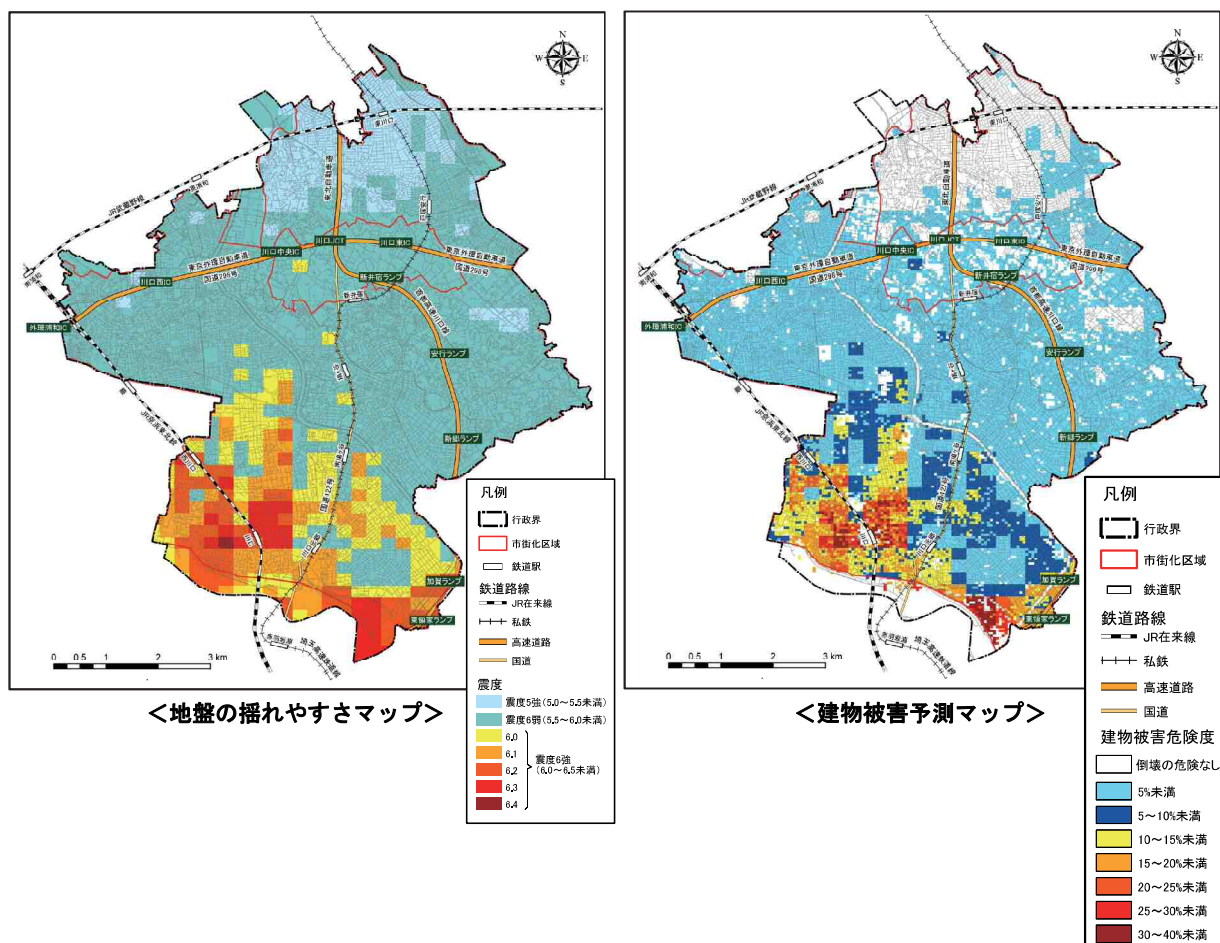
(7)防災施設の整備状況

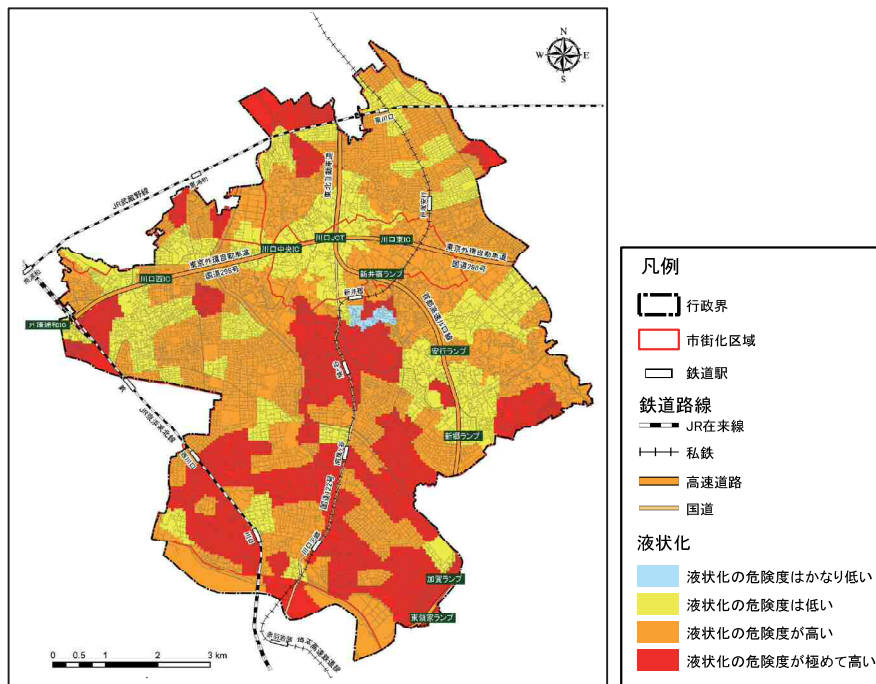
平成 23 年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」や平成 28 年 4 月 14 日に発生した「熊本地震」では、地震や津波、土砂崩れなどにより、多くの尊い生命や住民の財産が失われました。また、近年では台風やゲリラ豪雨、竜巻などによる被害が全国各地で発生しており、浸水や突風による被害についても警戒すべき重大な災害となっています。

国の報告によれば、今後 30 年以内にマグニチュード 7 クラスの首都直下地震が起こる確率は 70%と想定されており、発災時には耐震化が不十分な建物が多い密集市街地などにおける建物倒壊や焼失など、未曾有の事態が起こる可能性も指摘されています。

① 災害の被害想定

地震災害の被害想定として、首都直下地震（マグニチュード 7 クラス）を想定して作成した「地盤の揺れやすさマップ」と「建物被害予測マップ」、震度 6 強を想定した「地盤の液状化危険度マップ」によると、いずれも市南部の低地部において、災害の危険度が高くなっています。





<地盤の液状化危険度マップ>

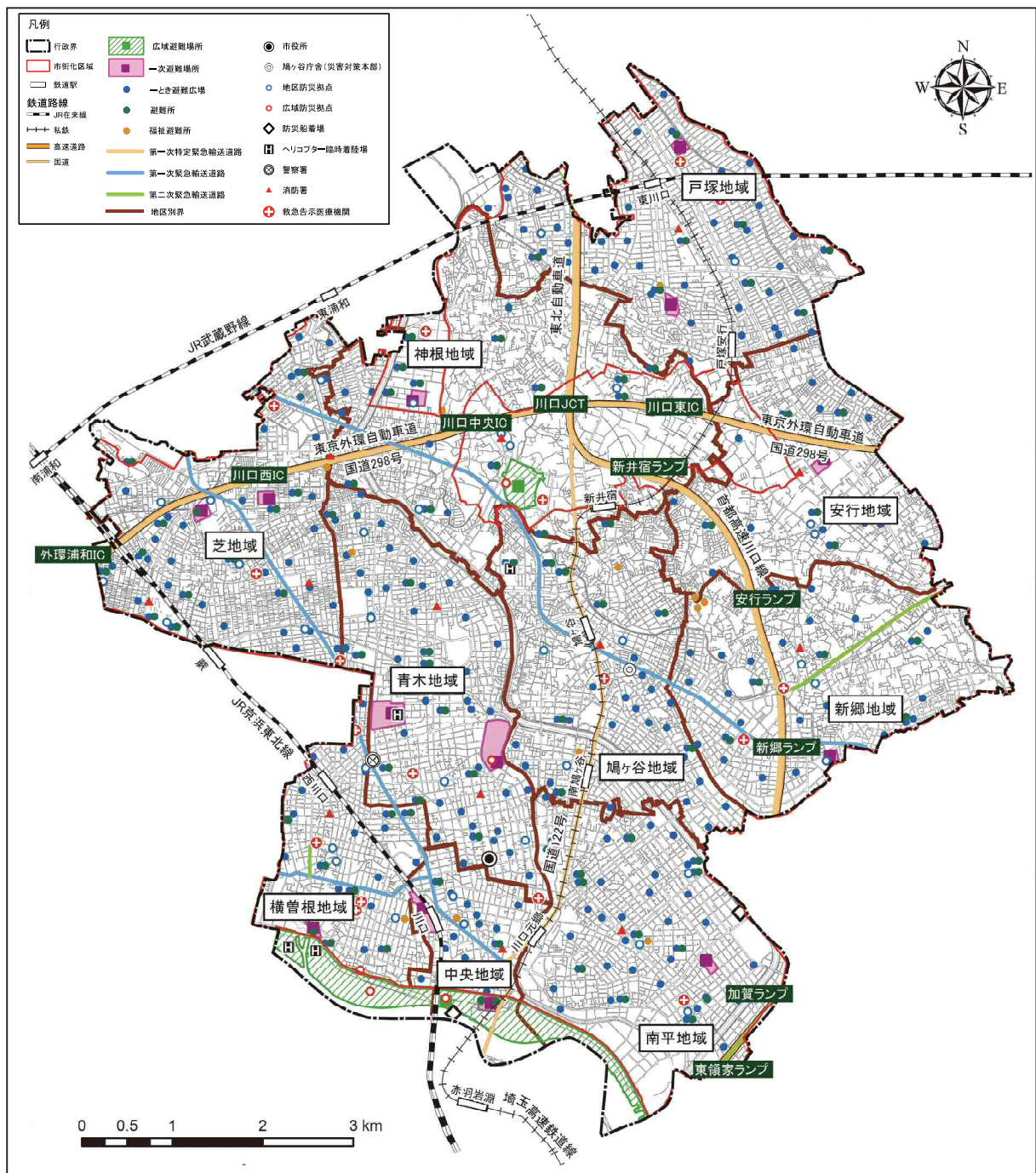
② 避難施設の指定状況

市内には避難施設として、「広域避難場所（グリーンセンター、荒川河川敷）」を2ヶ所、「一次避難場所（青木町公園、オートレース場、川口西公園ほか）」を13ヶ所、「一とき避難広場（市内の各公園）」を307ヶ所、「指定避難所（市内の小・中学校、高等学校）」を89ヶ所、「福祉避難所（福祉施設等）」を14ヶ所指定しています。

<p>広域避難場所</p> <p>…大規模な災害時に火災による延焼が拡大し、他の避難場所などに危険がある場合に避難する場所で火災の輻射熱から身を守るため、面積は10ha以上</p>	<p>2ヶ所</p> <p>（グリーンセンター、荒川河川敷）</p>
<p>一次避難場所</p> <p>…身体と生命を守るために一時的に避難が必要なときに、家族や近所の人とともに様子を見るために避難する場所で面積は1ha以上</p>	<p>13ヶ所</p> <p>（青木町公園、オートレース場、川口西公園ほか）</p>
<p>一とき避難広場</p> <p>…災害発生初期に、市民がひとまず避難して、災害の推移を見定めつつ身の安全を図ることのできる公共空地</p>	<p>307ヶ所</p> <p>（市内の各公園）</p>
<p>指定避難所</p> <p>…災害の危険性があり避難した住民等を災害の危険性がなくなるまでに必要な間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させるための施設</p>	<p>89ヶ所</p> <p>（市内の小・中学校、高等学校）</p>
<p>福祉避難所</p> <p>…避難所生活において特別な配慮を必要とする方（障害のある方、要介護認定を受けている方など）を一般の避難所から受け入れるための施設</p>	<p>14ヶ所</p> <p>（福祉施設等）</p>

③ 緊急輸送道路の指定状況

埼玉県指定緊急輸送道路として、「一次特定緊急輸送道路（東北自動車道、首都高速川口線、東京外環自動車道、国道298号、国道122号、足立川口線）」が6路線、「一次緊急輸送道路（さいたま川口線、川口上尾線、台東川口線、練馬川口線、川口停車場線、幹線76号、）」が6路線、「一次・二次緊急輸送道路（さいたま草加線）」が1路線、「二次緊急輸送道路（川口蕨線）」が1路線、「緊急用河川敷道路（荒川左岸）」が1路線指定されています。また、川口市指定道路として16幹線が指定されています。



<川口市の避難場所・避難所・緊急輸送道路等の指定状況図（防災マップ 一部加工）>

④ 密集市街地の状況

本市には、芝地域と鳩ヶ谷地域に密集市街地があり、芝地域内の2地区（芝富士地区の一部、芝樋ノ爪及び芝4・5丁目地区の一部）は、延焼危険性又は避難困難性が高く、地震時等において最低限の安全性を確保することが困難である「地震時等に著しく危険な密集市街地（平成24年10月12日に国から公表）」となっています。また、鳩ヶ谷地域では桜町地区において、老朽化した木造の狭小宅地が数多く存在しています。



<鳩ヶ谷地域の密集市街地>

⑤ 河川の治水対策の状況

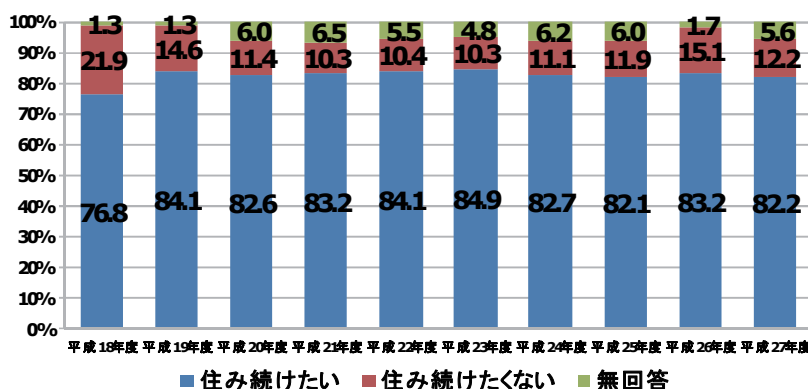
本市では、近年における急速な都市化の進展や豪雨の多発化などにより、降雨量が一時的に排水可能な量を超過してしまう内水氾濫の発生が各地域で見られています。

(8)市民意向の把握

平成 18 年度から平成 27 年度の「総合計画のための市民意識調査」に基づく、市民の都市づくりに関する意見・要望は以下のとおりです。

① 居留意向

平成 27 年度調査では、「住み続けたい」が 82.2%、「住み続けたくない」が 12.2%となっています。平成 19 年度以降は、「住み続けたい」が 80%台を維持し、市全体での居住継続意向は高い傾向にあります。一方で、「住み続けたくない」は例年 10%程度となっています。

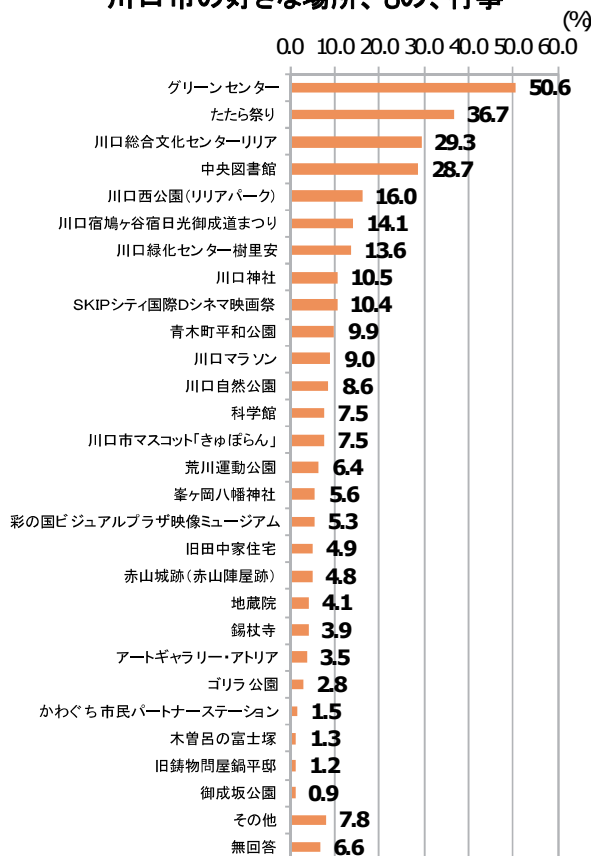


<居留意向の推移（総合計画のための市民意識調査平成 18 年度～平成 27 年度）>

② 好きな場所、もの、行事

平成 27 年度調査では、「グリーンセンター（50.6%）」、「たたら祭り（36.7%）」、「リリア（29.3%）」、「中央図書館（28.7%）」が上位を占めています。

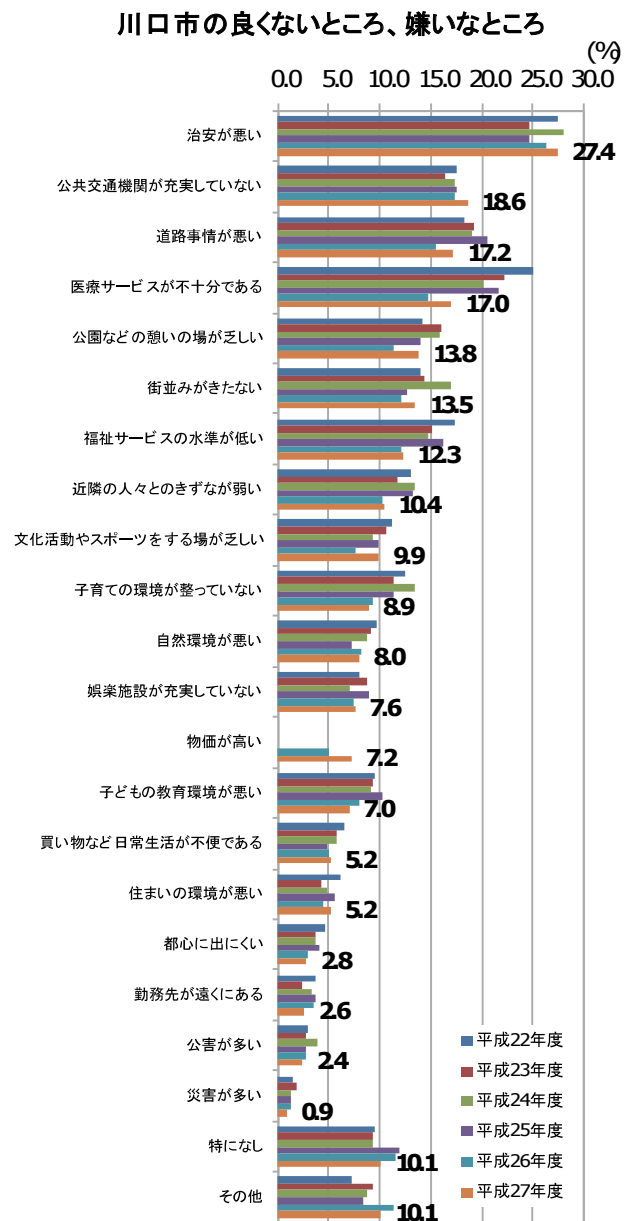
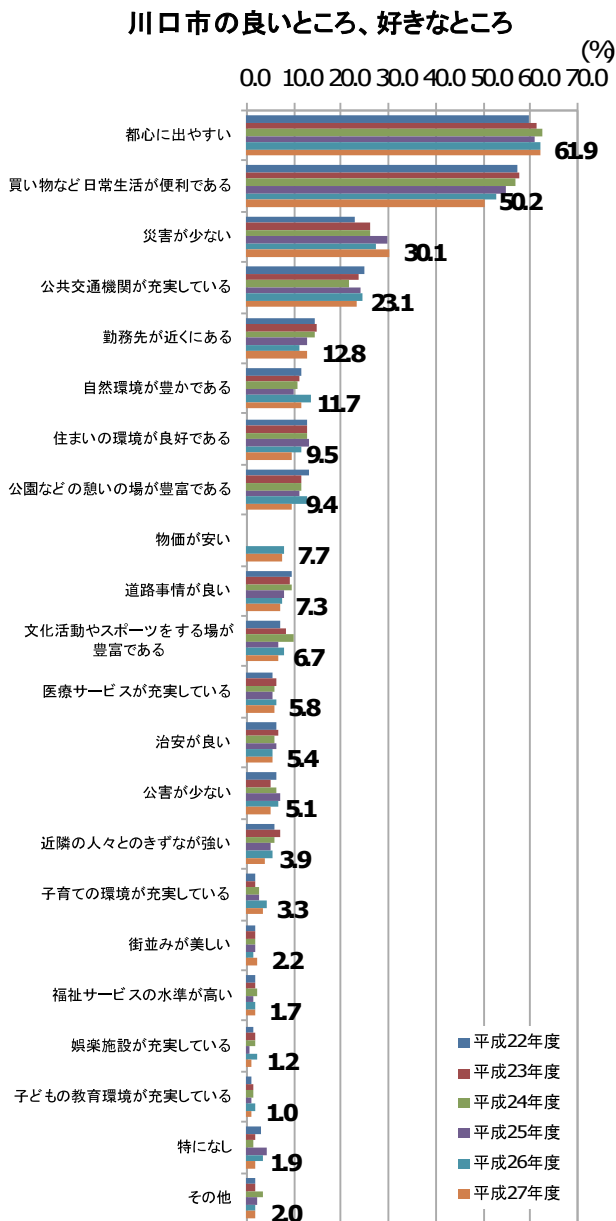
川口市の好きな場所、もの、行事



③ 良いところ、好きなおところ／良くないところ、嫌いなおところ

本市の良いところ、好きなおところとして、「都心に出やすい（61.9%）」、「買い物など日常生活が便利である（50.2%）」が多く、次いで、「災害が少ない（30.1%）」、「公共交通機関が充実している（23.1%）」の順となっています。

また、本市の良くないところ、嫌いなおところとして、「治安が悪い」が 27.4%を占め、次いで「公共交通機関が充実していない」が 18.6%となっています。



④ 満足している施策／今後充実を図るべき施策

満足している施策について、平成 26 年度調査では「安定した水道水の供給（37.7%）」が最も高く、次いで「廃棄物の減量化・再資源化・適正処理の推進（21.8%）」、「健康づくりの推進と医療の充実（21.5%）」の順となっています。

また、今後充実を図るべき施策について、平成 26 年度調査では「高齢者の暮らしの充実（21.7%）」が最も高く、次いで「誰もが安心できる生活環境の充実（21.4%）」、「安全・安心な市民生活の確保（20.2%）」、「総合的な交通基盤の充実（20.1%）」、「子育て環境の充実（19.0%）」の順となっています。

